

千葉市内の産業廃棄物最終処分場（管理型）における空間放射線量及び放流水等の放射性セシウム濃度の測定結果について

放射性物質を含む汚泥及び焼却灰を埋立処分する可能性のある市内の産業廃棄物最終処分場（管理型）について、処分場内の空間放射線量及び放流水等の放射性セシウム濃度を測定した結果がまとまりましたのでお知らせします。なお、空間放射線量、放流水ともに国が示した限度値を超えておりませんでした。

測定対象の処分場

- 丸徳興業株式会社 犢橋最終処分場
- 株式会社日本リサイクルマネジメント 西2号処分場
(株式会社日本リサイクルマネジメントの最終処分場（管理型）は平成24年4月2日に行われた吸収合併により、現在ではジャパン・リサイクル株式会社の施設となっています。)

結果の概要

空間放射線量

各処分場において「放射性物質汚染対策特措法」の年間被ばく量が1ミリシーベルトに相当する1時間当たり0.23マイクロシーベルトを超える放射線量は測定されませんでした。

- ※ 測定方法は、NaI (TI) シンチレーション式サーベイメータを用いた空間放射線量率測定法
- ※ 測定は高さ1mにおいて3回測定し、平均。

放流水等

各処分場の放流水等の放射性物質の濃度は、すべて国が示した放射性物質の濃度限度以下でした。

- ※ 国が示した放射背物質の濃度限度
セシウム134の濃度（ベクレル／リットル）÷60（ベクレル／リットル）＋セシウム137の濃度（ベクレル／リットル）÷90（ベクレル／リットル）≤1
- ※ 測定方法は、ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法

各処分場の測定結果

○丸徳興業株式会社 犢橋最終処分場（平成24年2月27日測定）

空間放射線量測定結果（単位：μSv／時）

測定場所	1回目	2回目	3回目	平均
北側敷地境界	0.09	0.09	0.09	0.09
東側敷地境界	0.10	0.10	0.09	0.10
南側敷地境界	0.10	0.10	0.10	0.10
西側敷地境界	0.09	0.08	0.08	0.08

放流水測定結果

（検出下限値：134Cs = 12、137Cs = 12 Bq/L）

測定核種	測定結果
放射性セシウム（134Cs）	不検出
放射性セシウム（137Cs）	不検出

※ 不検出とは、測定できる最低限の値（検出下限値）より小さいことを表します。

○株式会社日本リサイクルマネジメント 西2号処分場（平成24年3月15日測定）

空間放射線量測定結果（単位：μSv/時）

測定場所	1回目	2回目	3回目	平均
北側敷地境界	0.08	0.08	0.08	0.08
東側敷地境界	0.08	0.08	0.08	0.08
南側敷地境界	0.08	0.08	0.08	0.08
西側敷地境界	0.08	0.08	0.08	0.08

処理原水測定結果

（検出下限値： ^{134}Cs = 19、 ^{137}Cs = 14 Bq/L）

測定核種	測定結果
放射性セシウム（ ^{134}Cs ）	不検出
放射性セシウム（ ^{137}Cs ）	不検出

※ 不検出とは、測定できる最低限の値（検出下限値）より小さいことを表します。

※ 処理原水は、他社の処理施設で処理してから放流されています。